



環境かわら版

2024年2月号(333号)



あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の実施団体を募集しています(P3)

あいち地球温暖化対策フォーラム

主催：愛知県



あいち地球温暖化対策フォーラムを開催しました(P4)



最優秀グループ：チームF

2023年度水質パトロール隊の優秀グループが決定しました(P5)



モリゾー キャッコロ
あいちSDGsアンバサダー ©GISPRI

愛知県は「SDGs 未来都市」として、SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組を推進しています。県の環境に対する取組は、環境局 Web ページ「あいちの環境」で紹介しています。



「あいちの環境」(<https://www.pref.aichi.jp/kankyo/>)



「生物多様性サポーターフォーラム」を開催します



愛知県では、「人と自然が共生するあいち」を目指し、県民の皆さんに生物多様性を守ることの大切さをお伝えするため、「生物多様性サポーターフォーラム」を開催します。

- 1 日時 3月2日(土) 13:30~16:00
- 2 場所 イオンモール Nagoya Noritake Garden
3階 イオンホール
(名古屋市西区則武新町 3-1-17)

3 定員 150名(申込先着順)

4 主な内容

(1) 基調講演

「動物たちはこんなふう^にに絶滅していた!?
~でもどうして絶滅させてはいけないの?~」

[講師] 丸山貴史 氏*

*図鑑制作者。「わけあって絶滅しました。」や
「ざんねんないきもの事典」を執筆。

(2) 劇団シンデレラによる公演

(3) パネルディスカッション

※当日一部変更となる場合があります。

5 申込方法

Web 申込フォーム、メール、FAX のいずれか

6 申込期限 2月25日(日)まで

【参考】あいち生物多様性サポーター

県では、自然や生きものを応援してくれるサポーターを募集しています。サポーター登録者には、フォーラム会場にて特製グッズをプレゼントします。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/seibutu-forum.html>)



生物多様性サポーターフォーラム

検索

自然環境課 生物多様性保全グループ
電話 052-954-6475 (ダイヤルイン)

「産業廃棄物適正処理推進セミナー」の

視聴者を募集しています



愛知県では、産業廃棄物の適正処理を推進するため、排出事業者が果たすべき役割を徹底するとともに、処理業者の優良化を促進することを目的とした「産業廃棄物適正処理推進セミナー」を、オンデマンド配信しています。

産業廃棄物に関わる皆さんの業務に役立つ内容となっていますので、是非ご視聴ください。

1 配信期間 3月25日(月)まで

2 配信方法

オンデマンド配信 (vimeo(ヴィメオ)を使用)

3 内容 (全 115 分)

- (1) プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律について (20分)
- (2) 優良産廃処理業者認定制度及びエコアクション 21 認証取得について (20分)
- (3) 低濃度 PCB 廃棄物の適正な処理について (30分)

(4) 排出事業者責任について~処理業者に任せっ放しになっていませんか~ (45分)

4 対象者

産業廃棄物の排出事業者、産業廃棄物処理業者及び行政担当者

5 視聴料 無料 (通信費は自己負担)

6 申込期間 3月11日(月)まで (定員はなし)

7 視聴方法・申込方法

以下の Web ページにある視聴申込書に必要事項を記入の上、メールにより、お申し込みください。詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/tekisei-seminar2.html>)



資源循環推進課 廃棄物監視指導室 指導グループ
資源循環推進課 産業廃棄物グループ
電話 052-954-6235・6237(ダイヤルイン)

環境調査センター研究発表会を開催します



愛知県環境調査センターでは、県の環境行政を科学的・技術的に支える機関として調査研究を実施しています。その成果を広く発信するため、研究発表会を開催します。参加費は無料です。是非ご参加ください。

- 1 開催日時 3月5日(火) 13:30~16:10
- 2 会場 環境調査センター 第1会議室
(名古屋市北区辻町字流7-6)
- 3 定員 60名(申込先着順)



昨年度の研究発表会の様子

4 申込方法

Web ページから申込フォームにアクセスしていただき、必要事項をご入力の上お申し込みください。

5 申込期限 2月27日(火)まで

6 問合せ先

環境調査センター 企画情報部
メール: kankyo-c@pref.aichi.lg.jp
電話: 052-910-5486

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/r5happyoukai-boshu.html>)



愛知県環境調査センター 研究発表会

検索

環境調査センター 企画情報部
電話 052-910-5486 (ダイヤルイン)

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業の実施団体を募集しています



愛知県では、「あいち森と緑づくり税」を活用して、NPO やボランティア団体など多様な主体が行う自発的な森と緑の保全活動や環境学習の取組を促進するため、「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業交付金」による支援を行っています。



活動の様子(環境学習会)

現在、2024 年度に実施する企画提案を募集しますので、是非ご応募ください。

1 対象とする団体

NPO、ボランティア団体、農業協同組合、漁業協同組合、森林組合、自治会、私立学校等(県内に活動の拠点を置く、5名以上の団体)及び市町村

2 募集期限 3月1日(金)(必着)

3 提出書類及び部数

「あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業実施計画書」3部。様式は、Web ページからダウンロードできます。

4 提出先

主な事業実施場所が所在する市町村を所管する東三河総局(新城設楽振興事務所を含む)又は県民事務所の環境保全課

(名古屋市内は県庁の環境活動推進課)

詳細は Web ページをご覧ください。

(<https://www.pref.aichi.jp/press-release/2024morizeikikakubosyu.html>)



森と緑 環境活動

検索

環境活動推進課 調整・環境配慮行動グループ
電話 052-954-6241 (ダイヤルイン)

あいち地球温暖化対策フォーラムを開催しました



愛知県では、県民及び事業者の皆さんがカーボンニュートラルの実現に向けた方策について考える場となる「あいち地球温暖化対策フォーラム」を開催しました。

1 概要

日時 12月21日 13:30~16:30

会場 愛知芸術文化センター（名古屋市東区）

参加者 会場・オンライン合わせて約250名

2 認定証授与

電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車の導入など、自動車利用における脱炭素化に資する取組を積極的に実践する「自動車エコ事業所」の方々や、2030年度までの自主的なCO₂削減の取組を「あいちCO₂削減マニフェスト2030」として宣言していただいた事業者の方々に、知事から認定証が授与されました。



認定証授与式の様子

3 基調講演

ボストン コンサルティング グループ マネージング・ディレクター&シニア・パートナーの丹羽恵久にあぶしさんから、「COP28を踏まえたカーボンニュートラルの動向と県内企業にとってのチャレンジ」と題して、カーボンニュートラルを取り巻く最近の動向や、県内企業にとって必要な取組についてご講演いただきました。



基調講演の様子（講師：丹羽 恵久さん）

4 事例発表

旭鉄工(株)及び i Smart Technologies(株)代表取締役社長の木村哲也きむらてつやさんから、「3か月で65%削減も！中小企業にもできる旭鉄工のDXと儲かるカーボンニュートラル」と題して、CO₂の見える化による削減の取組について、また、(株)名古屋銀行常務取締役の山本克俊やまもとかつとしさんから、「地域のお客さまとともに進める名古屋銀行のカーボンニュートラルに向けた取組」と題して、地域金融機関としての取組について、それぞれ発表していただきました。



事例発表の様子

木村 哲也さん（左）、山本 克俊さん（右）

5 トークセッション

気象予報士でフリーアナウンサーの早川敦子はやかわあつこさんと講演・事例発表の講師3名により、「環境と地域経済の好循環を目指して」をテーマにトークセッションを行いました。この中では、「カーボンニュートラルへの取組にはゴールの設定や成功の積み上げが大切」などの呼びかけがありました。



トークセッションの様子

地球温暖化対策課 調整・企画グループ
電話 052-954-6213（ダイヤルイン）

2023 年度水質パトロール隊の優秀グループが 決定しました



愛知県では、小中学生の皆さんが中心となったグループが身近な川等の汚れ具合や水辺の生きものを調査することで、普段意識していない生活排水や身の回りの水環境について考えていただく「水質パトロール隊」事業を行っています。

2023 年度は 21 グループ (194 名) の水質パトロール隊から調査レポートの提出があり、審査の結果、特に優れた活動を行った 2 グループを優秀グループに決定しました。

2023 年度水質パトロール隊 優秀グループ

最優秀賞 チーム F

優秀賞 豊明エコキッズ

最優秀賞及び優秀賞は知事表彰として、両グループに表彰状と賞品を授与しました。

優秀グループのレポートは、水質調査活動に加え、

環境イベントに積極的に参加するなど、水環境について意欲的に学習している様子が掲載されており、調査結果のまとめ方にも工夫を凝らした素晴らしいレポートとなっています。そのほかにも、各グループの個性的でアイデアあふれるレポートがたくさんありました。

今年度の水質パトロール隊から提出された全レポートについては、Web ページをご覧ください。



(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizutaiki/mizupato-index.html>)

2023 年度 水質パトロール隊 優秀グループ

検索

水大気環境課 生活環境地盤対策室
三河湾環境再生グループ
電話 052-954-6220 (ダイヤルイン)

愛知県在住の 2 名の自然公園指導員が 環境大臣から表彰されました



環境省では、自然公園の保護とその適正な利用について、顕著な功績があった方をたたえるため、「自然公園関係功労者環境大臣表彰」を実施しています。

令和 5 年度は全国から 28 団体・個人が選ばれ、愛知県からは自然公園指導員 2 名が表彰されました。県としても、お二人の永年にわたる顕著な功績をたたえつつ、更なるご活躍を期待したいと思います。



表彰式の様子
(提供:環境省 (2023 年 12 月 20 日))

<受賞者及び功績>

- ・^{うえすぎ} ^{たけし} 上杉 毅 自然公園指導員 (瀬戸市)
1995 年より、自然環境に関する広い知見を活かし、行政への助言なども行い、自然環境の保全・保護に尽力されています。
(自然公園指導員歴 15 年 8 月)
- ・^{うの} ^{なおき} 宇野 直樹 自然公園指導員 (豊田市)
2008 年より、景観の保護、利用者のマナー向上、遊歩道の維持管理に尽力されています。
(自然公園指導員歴 15 年 8 月)

自然公園関係功労者環境大臣表彰

検索

自然環境課 調整・施設・自然公園グループ
電話 052-954-6227 (ダイヤルイン)

愛知県気候変動適応センターでは、気候変動適応への理解と取組を促進するため、市町村職員等を対象としたセミナーを実施しています。12月15日に開催したセミナーでは、岐阜大学 地域環境変動適応研究センター長の原田 ^{はらだ} ^{もりひろ} 守啓さんに「食を通じて気候変動・脱炭素を考えるヒント」と題して、岐阜県の特産品である「富有柿」などの食べ物が気候変動でどのようなようになるのか等をご講演いただきましたので、内容の一部を紹介します。

○ 食品ロス削減は気候変動への緩和策かつ適応策

柿の品種で日本一生産量の多い富有柿は、岐阜県で誕生した甘柿の代表的な品種で、11月頃が出荷の最盛期です。柿は、9月の平均気温が21～23℃に下がることで着色します。今後、残暑が長引くと、美味しさにはほとんど影響がないものの、特徴である鮮やかな紅色が薄くなる可能性があります。



十分色づいた富有柿（左）と近年の色が薄い富有柿（右）

このように、色が規格外になってしまうと、市場に出すことができず、スーパーマーケットなどに並ぶ前に棄てられてしまうこともあります。こうした私たちの気が付きにくい流通の過程で、気候変動の影響による食品ロスが増加しています。

食品ロスが発生すると、焼却処分時などで温室効果ガスが排出されます。人間活動に関連した排出量のうち約8%は食品ロスによるものであり、食品ロスを減らすことは、気候変動への緩和策となります。

同時に、気候変動の影響による食品ロスを減らす取組は、適応策でもあります。柿の場合、色が薄くなっても食味にほとんど影響がないため、市場への出荷目安となる色づきの基準を見直すという方法があります。この選果基準を変更するためには、消費者の理解が不可欠であり、消費者が購入する際の意識を変えていくことが必要です。

また、私たちにできることとして、規格外・販路がないなどの理由で廃棄されそうな食材を、生産者から直接購入する方法があります。例えば、「ポケットマルシェ（ポケマル）」は生産者直売サイトで、審査を通った生産者しか登録・出品することができないため、安心して購入できます。また、大手フリーマーケットサイトでも農家から家庭菜園まで、野菜の直接取引が始まっています。流通の過程で生じる食品ロスを減らすために、利用してみたいでしょうか。



(出典：安全な暮らしのヒント BOOK@ぎふ vol.2
岐阜の食卓が温暖化で変わっちゃう！？)

環境調査センター 企画情報部
愛知県気候変動適応センター
電話 052-910-5489 (ダイヤルイン)

※掲載のイベントや講習会等は、天候の影響等により、内容を変更又は中止する場合があります。

愛知県環境情報紙「環境かわら版」
2024年2月5日発行(第333号)
編集・発行 愛知県環境調査センター
企画情報部
〒462-0032 名古屋市北区辻町字流7-6
電話 052-910-5486(ダイヤルイン)

編集後記
「あいちの未来クリエイト部」という高校生の人づくり事業に携わり、地域の環境について調査・研究活動を真剣に行っている生徒たちを見ると、私自身も頑張ろうという気持ちになります。クリエイトの皆さん、一緒により良い未来をつくりましょう！
(企画・編集チーム)

今月号とバックナンバーを「環境かわら版」Webページに掲載しています。
(<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/kankyo-c/0000007029.html>)

掲載記事は広報紙等へ再掲していただきますようお願いいたします。

